

# 私と胃癌

## 愛甲 孝

Takashi AIKOU  
社会医療法人青雲会病院顧問  
鹿児島大学名誉教授

[経歴]

1969年 3月 九州大学医学部卒業  
1971年 4月 鹿児島大学医学部附属病院第一外科入局  
1987年 6月 コーネル大学NY病院留学  
1988年 8月 鹿児島大学医学部附属病院第一外科助教授  
1993年 5月 鹿児島大学医学部附属病院第一外科教授  
2002年12月 鹿児島大学医学部附属病院長  
2003年10月 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院長  
2005年 5月 国際胃癌学会受賞  
2006年 7月 日本消化器外科学会会長  
2007年 1月 国立大学法人鹿児島大学理事  
2009年 6月 ケルン大学名誉教授  
2010年 3月 鹿児島大学名誉教授  
2010年 4月 社会医療法人青雲会病院顧問  
2010年 9月 国際食道疾患会議会長  
[趣味] 菜園, 温泉, ワイン, ゴルフ  
[座右の銘] 敬天愛人

### 第4回

# 胃癌の腫瘍外科学の 温故創新を求めて 敬天究理

## 胃癌研究の発端

「温故創新」, 「敬天究理」, いずれも私の造語である。温故知新でなく創新と強調したのは, 癌治療における腫瘍外科学に関する先人の成し遂げた偉業を学び, さらに新たな知見を創造し発展させたいとの私どもの研究に対する想いからである。私は, 西郷隆盛先生を殊のほか敬愛する者の一人で, 先生の理念, 「敬天愛人: 至誠に徹し, 親愛の温情をもってことにあたり, 天を相手にして, 己のベスト尽くす。人や環境をとがめずして, 未だわが誠の足らざるを思え」の教えを大切にしてきた。すなわち「敬天究理」とは, 臨床に対し至誠に徹し, 研究に対し理を

編集部註: 本稿は2016年9月に執筆されました。